

2024年9月10日

安田不動産株式会社
一般社団法人淡路エリアマネジメント

報道関係各位

次世代の街づくりを見据えたアバター活用について

アバター共生社会実証実験「アバターランド」と連携

安田不動産株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 安田 守）は、株式会社国際電気通信基礎通信基礎技術研究所（以下「ATR」、本社京都府相楽郡精華町（けいはんな学園都市）、代表取締役社長 浅見 徹）が参加する、ムーンショット型研究開発事業（注1）目標1「誰もが自在に活躍できるアバター共生社会の実現」研究開発プロジェクト（大阪大学基礎工学研究科 石黒 浩教授）の一環として開催されるアバター共生社会体験型実証実験（通称：「アバターランド」）の実施連携拠点としての場を提供して協力し、次世代の街づくりを見据えたアバター実証実験を実施することをお知らせいたします。

■実施概要

この度の実証では、ATRが参加するムーンショット型研究開発事業の一環として、「アバターランド」の多地点連携拠点のうち、東京拠点として参加します。「アバターランド」では、サイバネティック・アバター（略称CA：遠隔操作ができるロボットアバターやCGアバター）（注2）が、大阪・東京・九州など全国の各所に配置され、配置されている周辺施設、店舗などの案内、実証プロジェクトの紹介など実験的なサービスを実施いたします。

また、各拠点のCAはネットワークで接続され、ATRが新たに開発した遠隔操作基盤システム（サイバネティックアバタープラットフォーム）によって、遠隔操作者の管理によりサービス提供ができることを実証いたします。

■実施期間・時間

東京会場：2024年9月17日（火）～9月27日（金）※土日祝日を除く

- ・ワテラスコモン（1階サロン、2階ギャラリー）
- ・ワテラス館内（モールエントランス、オフィスエントランス）
- ・ワテラス広場（9月27日（金）マルシェ実施期間中のみ）

実施時間：11：00～16：00

大阪会場：2024年9月10日（火）～9月29日（日）

- ・JAMBASE（大阪市北区 グラングリーン大阪）

実施時間：10：00～16：00

■東京拠点での取り組み

本実証事業における東京拠点での取り組みとして、ワテラスコモンを中心に次世代のまちづくりを見据えたアバター活用を実証いたします。取り組みに際し、以下 3 体のアバターを活用し、周辺施設、店舗などの案内、さらには地域マルシェでの周辺市民とアバターのふれあいを意識した実証を行います。また、サイバネティックアバタープラットフォームを活用した各拠点の遠隔操作にあたっては、「ワテラス学生専用マンション『ワテラススチューデントハウス』」の入居者である学生のボランティア協力により、今回の実証実験をサポートいたします。次世代を担う学生の協力のもと、次世代を見据えた新たな試みにチャレンジいたします。

<実験で使用する主な CA>

設置型		<p>小型ロボット Sota</p> <p>担当参画機関： 大阪大学、ATR</p> <p>連携機関： 株式会社サイバーエージェント</p>	<p>CommU と同じく机に乗るサイズの小型ロボットです。アバターランドでは AI と人が連携した対話サービスを体験してもらいます。</p>
移動型		<p>こども型見守り介護ロボット 「HANAMOFLOL」 ハナモフロル通称：はなちゃん</p> <p>担当参画機関： ソニーグループ株式会社</p>	<p>介護施設のリビングを移動しながら、利用者の見守りや個別のレクリエーション（お話ししたり、歌ったりができる）ロボットです。</p>
CG		<p>CG エージェント Gene（ジエネ） Uka（ウカ） Nirva(ニルヴァ)</p> <p>担当参画機関： ATR、名古屋工業大学</p>	<p>音声対話システム・遠隔アバター対話の双方で違和感なく利用でき、高い存在感と生命感を備える CG エージェントです。アバターランドでは、周辺施設や店舗を案内します。</p>

<アバターランド 実施イメージ>



(注1) ムーンショット型研究開発事業 の概要

本実証実験は、以下の事業・プログラム・プロジェクト・主な研究開発課題・実証実験参画機関・連携機関および共催・後援・協力のもとで推進しています。

[ムーンショット型研究開発事業 (MS)]

<研究開発プログラム>

「2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現」

(プログラムディレクター：萩田紀博 大阪芸術大学芸術学部アートサイエンス学科 学科長・教授)

<研究開発プロジェクト名>

「誰もが自在に活躍できるアバター共生社会の実現」

(プロジェクトマネージャー：石黒浩 大阪大学大学院基礎工学研究科 教授)

<主な研究開発課題名>

「企業連携実証実験基盤の開発・運営と企業コンソーシアム活動支援」

(課題推進者：宮下敬宏 国際電気通信基礎技術研究所 インタラクション技術バンク バンク長)

研究開発期間：令和2年12月～令和7年11月(予定)

実証実験参画機関：大阪大学、国際電気通信基礎技術研究所、立命館大学、京都大学、名古屋工業大学、理化学研究所、長崎大学、ソニーグループ株式会社、電気通信大学、慶應義塾大学、金沢大学、名古屋大学

連携機関：株式会社サイバーエージェント

後援・協力：公益財団法人大阪産業局、一般社団法人 i-RooBO Network Forum、一般社団法人デジタル人材共創連盟

研究開発プログラムでは、2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現するため、サイボーグやアバターとして知られる一連の技術を高度に活用し、人の身体的能力、認知能力及び知覚能力を拡張するサイバネティック・アバター技術を、社会通念を踏まえながら研究開発を推進していきます。

研究開発プロジェクトでは、利用者の反応をみて行動するホスピタリティ豊かな対話行動ができる複数のCAを自在に遠隔操作して、現場に行かなくても多様な社会活動(仕事、教育、医療、日常等)に参画できることを実現します。2050年には、場所の選び方、時間の使い方、人間の能力の拡張において、生活様式が劇的に変革するが、社会とバランスのとれたアバター共生社会を実現します。

<用語解説>

(注2) サイバネティック・アバター (Cybernetic Avatar (登録商標第 6523764 号)、略称: CA)

「身代わりとしてのロボットや映像等を示すアバターに加えて、人の身体的能力、認知能力及び知覚能力を拡張する ICT 技術やロボット技術を含む概念」で、Society 5.0 時代のサイバー・フィジカル空間で自由自在に活躍するものを目指しています。CA は下図 (JST 資料より抜粋) のように、身体、脳、空間、時間の制約から解放するためにさまざまな機能や形態が考えられています。



身代わりロボットでどこへでも行ける



サイバー・フィジカル空間の映像アバターでリアルな体験



身体・認知・知覚能力を拡張して充実した人生を

■「ワテラス」(WATERRAS)とは

神田淡路町が培ってきた「和」「輪」「環」の 3 つの WA をコンセプトにデザインされた複合施設。オフィス、レジデンス、スチューデントハウス、商業施設、コミュニティ施設(ギャラリー、ホール、イベントスペースなど)で構成されています。

ワテラス HP <http://www.waterras.com>

ワテラスモール HP <https://www.waterras-mall.com>

■一般社団法人淡路エリアマネジメントとは

古くから住む地元住民と安田不動産が中心となって神田淡路町の再開発をきっかけに設立されたまちづくり組織です。地域に暮らす住民やオフィスワーカー、学生など、様々な人々の交流の機会をつくり、コミュニティをはぐくむ活動を行っています。

■ワテラススチューデントハウスとは

ワテラスアネックス棟 14 階、15 階にある学生マンションです。安価な家賃設定による居住推進を図るとともに、様々な地域活動への参加機会を提供しており、一緒にまちづくりを担えるパートナーを募集しております。

URL : <https://www.waterras.com/event/studenthouse/>

■安田不動産について

安田不動産は、旧安田財閥の中核であった安田保善社の第二会社として、昭和 25 年に設立し、地域に根差したまちづくりを推進している総合不動産会社です。

URL : <http://www.yasuda-re.co.jp/>

<リリースに関するお問い合わせ先>

安田不動産株式会社 経営企画部 藤岡(ふじおか)

TEL 03-5259-0517 FAX 03-5259-0532

<本件に関するお問い合わせ先>

安田不動産株式会社 資産営業第二部 内海(うつみ)

TEL 03-5259-0524 FAX 03-5259-0528